

第61期 事業報告書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日



おかげさまで、会社創立60周年



定時出発率世界1位記念トロフィー授与式
(令和5年3月 宮崎ブーゲンビリア空港)



M 宮崎空港ビル株式会社

事業報告

自 令和4年4月 1日
至 令和5年3月31日

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過および成果

当期における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策と社会経済活動の両立を図りながら、政府による段階的な行動制限の緩和や支援策等により、緩やかな回復基調で推移いたしました。

その一方で、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発する、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引き締め等による景気後退懸念など、取り巻く環境は厳しさを増しました。また、観光業や運輸業、飲食業においては、経済回復に向けた政府の動きに合わせて急激に需要が回復したものの、コロナ禍の影響により離職した人員が戻らず、人手・人材不足が大きな社会問題となっております。

さらに本県では、9月に台風14号が襲来し、山間部を中心に国の激甚災害に指定される程の甚大な被害をもたらしました。

航空業界におきましては、この3年余り非常に厳しい状況が続いていましたが、国内外の需要は徐々に回復してきております。国内線ではコロナ禍前の水準と比較して乗降客数が8割程度まで戻り、国際線では、水際対策緩和等により4割程度の回復状況となっております。一方で、燃油価格の高騰が続くとともに、空港職員の人手不足が深刻化している現状があります。

宮崎空港の国内線におきましては、前年までのような厳しい行動制限がなく、上半期はコロナ禍前との比較で6割程度の状況でスタートいたしました。10月からは、全国旅行支援が大きな後押しとなり、観光需要が回復したことから8割を上回る状況で推移し、特に「WBC侍ジャパン宮崎合宿」が開催された2月は令和元年比91.6%となりました。このようなことから、年間乗降客数は2,528,937人、前年比181.9%（+1,138,670人）と大きく増加し、令和元年比で81.1%（△587,576人）となりました。

一方、国際線では、県や市、CIQの皆様のご尽力により11月に地方空港では最も早く運航が再開されました。インバウンドチャーター便ではありますが、韓国線においてアジアナ航空、エアプサンによる運航があり、年間乗降客数6,485人、令和元年比9.0%（△65,177人）となりました。

その結果、国内線・国際線の乗降客数は2,535,422人、前年比182.4%（+1,145,155人）、令和元年比79.5%（△652,753人）となりました。

当社におきましては、政府の行動制限の対応に合わせた取り組みを推進しながら、回復する需要を最大限に取り込むとともに、旅客以外にもご利用いただけるイベントをはじめ、地域人気店の期間限定出店や新たな催事を積極的に実施したほか、コロナ禍で臨時休業していた店舗についても営業を再開し、ようやく平常に近い形で空港内全店舗の運営が実現出来ました。

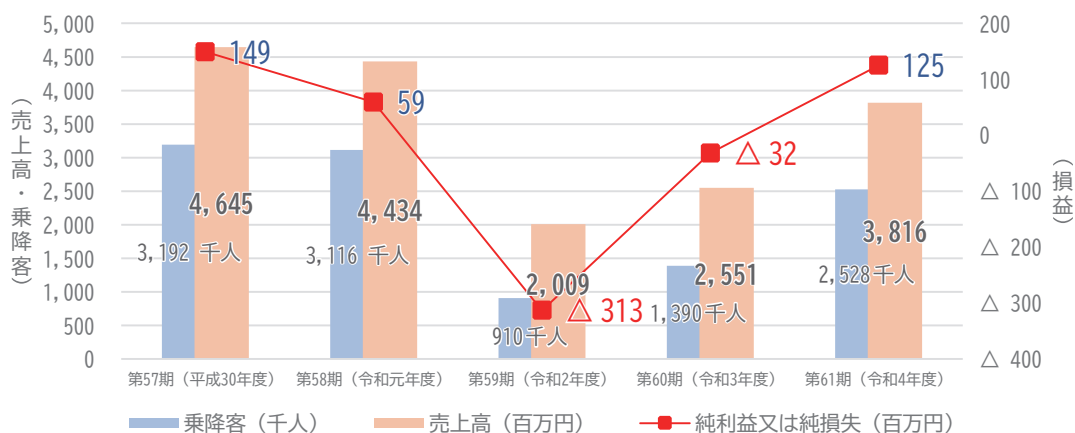
また、11月には会社創立60周年という大きな節目を迎え、日頃お世話になっている地域の皆様へ感謝の気持ちをお伝えするとともに、館内では60年の歴史を振り返るパネル展などの記念行事を開催いたしました。創立以来ご支援・ご協力をいただいている地元自治会の方々へは、感謝状の贈呈や寄付をさせていただいたほか、ターミナルビル開設以来、屋上に御霊を分祀いただいております宮崎神宮五所稻荷神社の本殿前に、同じく分祀されている株式会社宮崎放送と共同で灯籠を2基、寄進させていただきました。

一方で、全てのお客様に快適にご利用いただくための設備投資については引き続き行うとともに、エネルギー価格の高騰に考慮し、必要な館内空調等は維持しながら節減対策にも努めてまいりました。また、飲食店においては原材料費高騰が続く中、仕入れや販売価格の見直しに加え、配膳ロボットを導入するなど省人化を見据えた取り組みも推進しました。

なお、当社においても人手不足の問題を抱えており、賃金の上昇や労働環境の改善を図るなど、優秀な人材の確保に努めております。そのような中、物価高騰による従業員の生活支援に配慮し、コロナ禍の中ではありましたが、3年ぶりとなる定期昇給も実施いたしました。

これらの結果、営業収入は3,816,556千円(前年比149.6% +1,265,212千円/令和元年比86.1% △617,699千円)、営業経費は3,743,694千円(前年比135.3% +975,898千円/令和元年比86.2% △598,198千円)となり、営業利益は72,862千円、経常利益は79,872千円で増収増益となり、3年振りの黒字化を達成することができました。なお、特別利益として、コロナ関連各種補助金等もあり、当期純利益は125,315千円となっております。

■乗降客数と売上高・純利益又は純損失の5カ年推移



※特記事項

・第58期(令和元年度)の令和2年3月より新型コロナウイルス感染拡大の影響から乗降客数が激減しました。

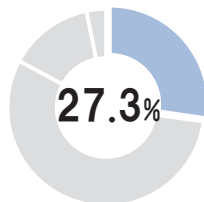
部門別の状況は次のとおりであります。

貸室部門

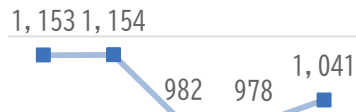
宮崎県の御支援もいただきながら、前期に引き続き、航空会社に対する貸室料や施設使用料等の減額を行いました。

テナントの貸室料や館内の広告料については、各社ともコロナ禍前の状況にほぼ戻りましたので、通常通りの賃料収入を確保することができました。

売上高構成比



売上高（百万円）



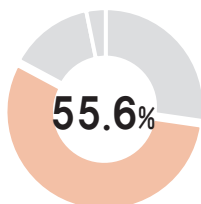
第57期 第58期 第59期 第60期 第61期

営業部門

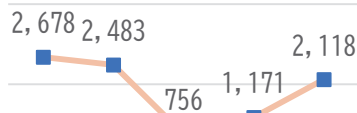
販売部門

地域からの集客をテーマに、マンゴーや餃子等のコンセプトショップ、商工会連合会との共同企画を展開したほか、2階の各店舗においては、地域との話題となる人気店の期間限定出店など、地元との連携を深め、新たな催事の開催等、販売強化に取り組みました。

売上高構成比



売上高（百万円）

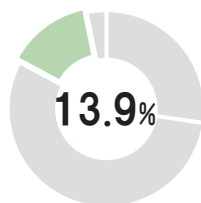


第57期 第58期 第59期 第60期 第61期

飲食部門

飲食部門では、原材料費や人件費等の上昇が続く中、仕入の管理や配膳ロボットの導入、販売価格の見直しなど収支バランスの適正化を図るとともに、日本一となった宮崎牛フェアなど、季節感や話題性を取り入れた新メニューの企画開発にも努め、宮崎の食の魅力を発信するとともに地元からの集客にも努めて参りました。

売上高構成比



売上高（百万円）



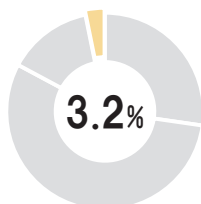
第57期 第58期 第59期 第60期 第61期

業務部門

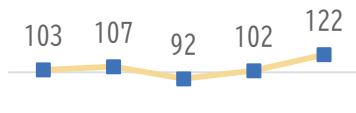
旅客需要回復に合わせ、レンタカー、ラウンジ等の手数料が増加しました。

また、「働き方改革」の流れの中、ワーケーションやコワーキング、Web会議等に対応できるよう、空港での快適なビジネス環境を整備しました。利便性に優れた空港の特性を活かし、新たな空港利用のあり方を提案しています。

売上高構成比



売上高（百万円）



第57期 第58期 第59期 第60期 第61期

(売上高構成比100=3,816百万円)

■地域活性化部門

地域活性化については、社内に「地域活性推進課」を設置して2年目となり、新たな取り組みを積極的に展開しました。イベントでは、創業100周年を迎えた旭化成延岡支社主催の「エントツノシタ～県北地域の観光や物産展」を開催したほか、宮崎県とポケモン社が連携して進める「ナッシーリゾートin宮崎」の一環として、オアシス広場にアローラナッシーの等身大バルーン（10.9m）を設置するとともに、県内全市町村のポケふた展やポケモンショップなどを実施しました。

県内バスツアーでは、航空大学校と連携した体験ツアーを5回開催したほか、九州で唯一、国土交通省の「ガーデンツーリズム」に登録されている「宮崎花旅365」の見学ツアーや、日本農業遺産に認定された「大根やぐらとカツオ一本釣り漁を訪ねる旅」なども好評をいただきました。今後は全国の皆様にも広く呼びかけ、県民とともに県内各地の魅力を体感していただく「空港発の新たな観光ツアー」として発展させていきたいと考えています。

■施設部門

旅客搭乗橋（PBB）の段階的更新を進めていますが、国が実施するエプロン耐震工事期間が延長されたため、当期分については次年度分と合わせて実施することといたしました。

また、全国の空港で問題となっております多客期の保安検査場混雑に対する対応については、航空会社や検査業務会社と連携し、お客様動線の確保や誘導といった対策を講じ、混雑緩和に努めました。

（2）対処すべき課題と今後の展望

当社の今後の課題については、エネルギー・食料価格の高騰による影響や、人手不足対策のための賃上げによる人件費高騰等への対応がございませう。また、国の政策に基づく脱炭素化の取り組み推進等、より環境に配慮した経営が求められており、あわせて災害リスクへの備えも重要であると考えております。

一方では、新型コロナウイルス感染症について5月8日に法律上の分類が2類から5類に引き下げられ、大きな転換期を迎えました。3年間停滞していた人流や消費の活発化により、一層の景気回復が予想されます。

このような中、令和5年度、当社では3つの基本方針（①安定的な経営体制の確立 ②楽しい旅とくらしのお手伝い ③地域貢献・活性化に努め、地元へ愛される空港づくり）を定め、グループ会社や関係機関の皆様方と連携して、当社の経営理念・使命と役割に沿って、宮崎の空の玄関口としての責務を果たしてまいりたいと考えております。

具体的には、活発化する需要を最大限取り込むことで確実に収入を確保し、将来に向けた人材確保・育成、省人化につながる合理化を図るとともに、引き続き適切な設備投資は行いながら、コスト管理に努めてまいります。また、行政機関と連携し、国際定期便の早期再開や新規路線就航による新たな航空需要の開拓、航空旅客以外の地元の皆様にも積極的にご利用いただける空港づくりを行うことで、更なる利用者の増加につなげてまいります。

なお、空港民営化の動向につきましても、引き続き情報収集に努めながら研究を続けてまいります。

令和5年4月22・23日には、「G7宮崎農業大臣会合」が本県で開催されました。閣僚会合開催は23年ぶりとなり、誘致から本番に至るまでの関係機関の皆様方のご尽力に対し深く敬意を表するものであります。当社としましても、空の玄関口として宮崎の魅力を発信するとともに、世界各国から来られた皆様に温かくお迎えすることに努めました。

また、今年の新年早々には大変うれしいニュースが飛び込んでまいりました。航空データを分析する英国のシリウム社が毎年実施している定時出発率の小規模空港部門において、対象173空港の中から見事世界1位を獲得することができました。これも、日頃より定時運航に努めていただいている航空各社や、検査業務、清掃業務等に携わる皆様のおかげと深く感謝申し上げます。さらに、小型機割合が全就航便の約25%を占める当空港においては、三菱重工交通・建設エンジニアリングと共同開発して6年前に導入した小型機対応の旅客搭乗橋（ロングPBB）の効果も大きいと考えております。天候が悪くとも、車いすに乗ったままでも、安全に飛行機に乗り降りすることができ、航空会社やお客様に大変喜んでいただいております。

当期も国、宮崎県、宮崎市など行政の皆様、並びに関係機関の皆様から多くのご支援をいただきました。改めて御礼申し上げます。

最後になりましたが、おかげさまで創立60周年を迎えることが出来たのも、ひとえに株主の皆様のご永きにわたるご支援の賜物と心より感謝申し上げます。また、年度初めの5月に、コロナ禍で3年越しとなった「全国空港ビル事業者協会総会」を宮崎で開催していただきました。2年間延期してまでも宮崎で行っていただいた同協会のご配慮に深く感謝申し上げます。私どもでは、これからも「おもてなしこそが最大の観光資源」をモットーに「まだまだ、ニコニコ、一歩ずつ」を行動指針として、快適な空間の提供や地域の活性化に努め、県民の皆様にご信頼される会社を目指してまいります。

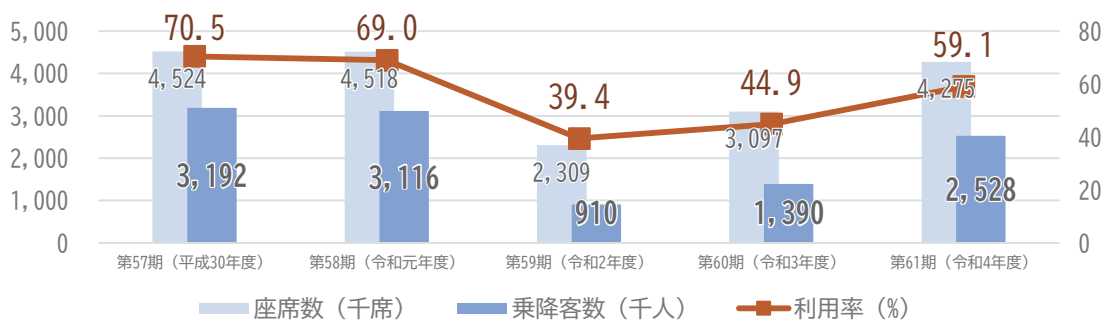
株主の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上

(参 考) 乗 降 客 資 料

【宮崎空港状況】

①国内線の5カ年推移



※特記事項 ・第58期(令和元年度)の令和2年3月より新型コロナウイルス感染拡大の影響から乗降客数が激減しました。

②国内線路線別の状況(令和4年4月～令和5年3月)

	本年	増減	前年比	令和元年比
羽 田	1,153,131 人	540,624 人	188.3%	77.8%
成 田	136,826 人	32,786 人	131.5%	99.0%
東 京 計	1,289,957 人	573,410 人	180.0%	79.7%
伊 丹	495,661 人	230,491 人	186.9%	82.4%
関 空	133,209 人	71,873 人	217.2%	114.9%
大 阪 計	628,870 人	302,364 人	192.6%	87.6%
福 岡	426,473 人	176,156 人	170.4%	79.8%
名 古 屋	117,502 人	50,727 人	176.0%	74.7%
沖 縄	64,079 人	35,033 人	220.6%	75.2%
チャーター 及び臨時便	2,056 人	980 人	191.1%	91.7%
合 計	2,528,937 人	1,138,670 人	181.9%	81.1%

③航空会社別状況（令和4年4月～令和5年3月）

	ANA	JAL	ワイド・I7	LCC計	合計
乗降客数 (対前年比) (対元年比)	934千人 (209.6%) (76.2%)	770千人 (177.0%) (80.2%)	552千人 (160.9%) (82.0%)	270千人 (163.2%) (106.2%)	2,528千人 (181.9%) (81.1%)
座席数 (対前年比) (対元年比)	1,567千席 (169.3%) (87.1%)	1,282千席 (137.4%) (92.3%)	998千席 (105.6%) (97.3%)	424千席 (144.9%) (140.8%)	4,275千席 (138.0%) (94.6%)
利用率 (前年実績) (元年実績)	59.6% (48.2%) (68.2%)	60.1% (46.6%) (69.1%)	55.3% (36.3%) (65.6%)	63.5% (56.4%) (84.2%)	59.1% (44.9%) (69.0%)

※上記数値には、国際線の乗降客数は含まれておりません。

※ANAについては、本年のORC乗降客数171千人、座席提供数250千席を含めた実績で計上いたしております。

※LCC計は、Peachとジェットスターの合算となっております。

④九州各空港の乗降客数（令和4年4月～令和5年3月）

空港名	国内線	前年比 (令和元年比)	国際線	前年比 (令和元年比)	合計	前年比 (令和元年比)
福岡	15,708,402 人	166.6% (89.4%)	2,259,514 人	8614.5% (41.3%)	17,967,916 人	189.8% (78.0%)
那覇	15,820,218 人	197.9% (90.6%)	406,781 人	— % (12.9%)	16,226,999 人	203.0% (78.7%)
鹿児島	4,645,351 人	173.5% (85.4%)	11,281 人	— % (3.4%)	4,656,632 人	173.9% (80.7%)
熊本	2,582,746 人	193.3% (83.1%)	18,742 人	— % (16.5%)	2,601,488 人	194.7% (80.7%)
長崎	2,572,939 人	192.4% (83.2%)	0 人	—	2,572,939 人	192.4% (81.4%)
宮崎	2,528,937 人	181.9% (81.1%)	6,485 人	— % (9.0%)	2,535,422 人	182.4% (79.5%)
大分	1,469,365 人	172.0% (82.4%)	0 人	—	1,469,365 人	172.0% (80.1%)
北九州	836,661 人	173.8% (67.8%)	2,131 人	— % (1.0%)	838,792 人	174.2% (57.6%)
佐賀	345,395 人	237.8% (59.4%)	0 人	—	345,395 人	237.8% (47.3%)

(3) 設備投資の状況

当期において旅客搭乗橋2基の更新を計画しておりましたが、国が実施するエプロン耐震工事が延長されたため、令和5年度に次年度分2基とあわせて4基分（総額300,000千円）を実施いたします。

(4) 資金調達の状況

当期における特記すべき事項はありません。

(5) 財産及び損益の状況の推移

区 分	第58期	第59期	第60期	第61期
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (当期)
売上高（千円）	4,434,255	2,009,509	2,551,344	3,816,556
当期純利益又は 当期純損失（千円）	59,843	△313,970	△32,829	125,315
一株当たり当期純利益 又は当期純損失（千円）	2,992.19	△15,698.50	△1,641.46	6,265.72
総資産（千円）	8,712,066	8,454,282	8,229,225	8,398,741
純資産（千円）	4,212,069	3,874,194	3,858,332	4,153,129

(6) 主要な事業内容および事業所（令和5年3月31日現在）

1) 主要な事業内容

- ①貸室業 航空会社並びに売店・飲食業のテナント
- ②売店 土産品および酒、煙草販売
- ③レストラン

2) 事業所

本社 宮崎県宮崎市大字赤江宮崎空港内

(7) 従業員の状況（令和5年3月31日現在）

区 分	人 数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
正社員及び 契約社員	76名	△4名	33.6歳	10.3年
嘱託社員及び パート・アルバイト	187名	39名	44.2歳	6.0年
合 計	263名	35名	41.1歳	7.3年

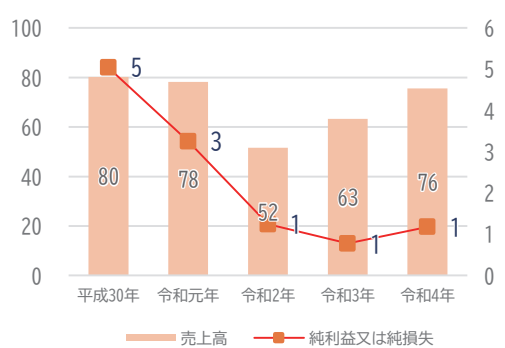
(8) 重要な子会社の状況（令和5年3月31日現在）

会社名	資本金	持株 比率	主な事業内容	従業員の状況（前年増減）
宮崎空港商事 株式会社	10,000 千円	100%	1. 土産品卸売業及び各種商品 の製造、販売 2. 売店及び飲食店の経営	正社員 9名 (△2名) 契 約 3名 (+1名) ア ル バ イ ト 0名 (△1名) 合 計 12名 (△2名)
株式会社 味のガンジス	10,000 千円	100%	1. レストランの経営 <宮交シティ2階> カレー専門店「味のガンジス」 2. 加工品の販売	正社員 0名 (±0名) 嘱 託 1名 (±0名) ア ル バ イ ト 8名 (+1名) 合 計 9名 (+1名)

■ 宮崎空港商事株式会社の5カ年推移（単位：百万円）



■ 株式会社味のガンジスの5カ年推移（単位：百万円）



(9) 主要な借入先（令和5年3月31日現在）

借入先	借入金残高
株 式 会 社 宮 崎 銀 行	1,838,160千円
株 式 会 社 宮 崎 太 陽 銀 行	1,261,320千円
株 式 会 社 日 本 政 策 投 資 銀 行	200,000千円

2. 株式に関する事項（令和5年3月31日現在）

(1) 発行可能株式総数 30,000 株

(2) 発行済株式総数 20,000 株

(3) 株主数 21 名

(4) 大株主（上位11名）

株主名	持株数	議決権比率
宮崎交通株式会社	7,865株	39.3%
A N Aホールディングス株式会社	4,000	20.0
株式会社宮崎銀行	1,000	5.0
宮崎県	1,000	5.0
日本航空株式会社	700	3.5
宮崎市	600	3.0
恒吉宏三郎	560	2.8
九州電力株式会社	500	2.5
株式会社宮崎放送	500	2.5
旭化成株式会社	500	2.5
フェニックスリゾート株式会社	500	2.5

(5) 株式の移動

当期中における株式の移動はございません。

3. 会社の役員に関する事項（令和5年3月31日現在）

取締役及び監査役の状況

地 位	氏 名	担当または主な職業
取 締 役 会 長	長 濱 保 廣	株主総会・取締役会議長
代表取締役社長	永 山 博 康	統括・常務会議長 CS・コンプライアンス担当
常 務 取 締 役	下 沖 忠 広	財務・経理担当
常 務 取 締 役	木 村 剛 啓	施設・危機管理担当
常 務 取 締 役	大 坪 篤 史	業務・地域活性化担当
取締役経理部長	大 久 保 政 彦	経理部担当
取締役営業部長	藤 本 誠 一	営業部担当
取締役総務部長	前 田 剛 宏	総務部担当
取 締 役	日 隈 俊 郎	宮崎県副知事
取 締 役	清 山 知 憲	宮崎市長
取 締 役	渡 邊 俊 隆	宮交ホールディングス株式会社 代表取締役社長
取 締 役	中 村 雄 志	全日本空輸株式会社 宮崎支店 支店長
取 締 役	福 岡 実 恵	日本航空株式会社 宮崎支店 支店長
監 査 役	平 野 亘 也	株式会社宮崎銀行 取締役会長
監 査 役	林 田 洋 二	株式会社宮崎太陽銀行 代表取締役頭取

- (注) 1. 取締役日隈俊郎氏、清山知憲氏、渡邊俊隆氏、中村雄志氏、福岡実恵氏は、社外取締役であります。
2. 監査役平野亘也氏、林田洋二氏は、社外監査役であります。

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

資産の部			負債の部		
科目	金額		科目	金額	
流動資産	千円	千円	流動負債	千円	千円
		905,714			1,849,210
現金・預金	564,064		短期借入金	1,020,000	
売掛金	185,412		1年以内返済予定の長期借入金	270,000	
売店商品	49,516		買掛金	289,240	
食堂材料	12,433		未払費用	91,018	
貯蔵品	5,268		未払法人税等	34,462	
雑流動資産	34,864		未払消費税等	10,831	
未収収益	54,432		預り金	18,966	
貸倒引当金	△ 277		前受収益	54,202	
			賞与引当金	16,350	
			役員賞与引当金	12,600	
			リース債務	31,537	
固定資産		7,493,027	固定負債		2,396,401
有形固定資産	(5,205,436)		長期借入金	2,009,480	
建物	3,585,342		退職給付引当金	105,774	
建物付属構築物	824,113		役員退職慰労引当金	218,630	
構築物	34,179		預り保証金	23,713	
機械装置	294,881		リース債務	38,803	
什器備品	108,674		負債の部合計		4,245,612
車両運搬具	0		純資産の部		
庭園	6,485		株主資本		2,986,125
土地	303,333		資本金		200,000
リース資産	48,426		資本金	200,000	
無形固定資産	(28,342)		利益剰余金		2,786,125
ソフトウェア	11,323		利益準備金	50,000	
無形リース資産	16,495		その他利益剰余金	2,736,125	
その他の無形固定資産	522		施設改修積立金	1,500,000	
			任意積立金	1,100,000	
投資その他の資産	(2,259,248)		繰越利益剰余金	136,125	
投資有価証券	1,933,793		評価・換算差額等		1,167,004
子会社株式	10,000		その他有価証券評価差額金	1,167,004	
出資金	315,454		純資産の部合計		4,153,129
資産の部合計		8,398,741	負債・純資産の部合計		8,398,741

(注) 1.子会社に対する短期金銭債権 266千円

2.子会社に対する短期金銭債務 70,120千円

3.有形固定資産の減価償却累計額 11,432,480千円

4.担保に供している資産 86,280千円

損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

科 目	金 額		
	収 入	支 出	損 益
	千円	千円	千円
貸 室 収 入	1,041,327		
売 上 収 入	2,652,768		
使用料及び手数料収入	122,462		
営業収入計	3,816,556		
売 上 原 価		1,717,956	
人 件 費		817,665	
諸 経 費		818,969	
償 却 費		389,103	
営業経費計		3,743,694	
営業損益			72,862
受 取 利 息	4		
その他の営業外収入	58,338		
営業外収入計	58,342		
支 払 利 息		50,091	
その他の営業外支出		1,240	
営業外経費計		51,331	
営業外損益			7,011
経常利益			79,872
特 別 利 益			
国庫補助金受贈益	85,737		
計	85,737		
特 別 損 失			
固定資産圧縮損		2,338	
計		2,338	
税引前当期純利益			163,271
法人税・住民税及び事業税			37,957
当期純利益			125,315

- (注) 1. 子会社に対する売上高 5,304 千円
 2. 子会社からの仕入高 673,544 千円
 3. 1株当たりの当期純利益 6,265.72円

株主資本等変動計算書

当会計期間(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:千円)

	株 主 資 本							評価・換算 差額等	純 資 産 の 部 合 計
	資 本 金	利 益 剰 余 金					株 主 資 本 合 計		
		利 益 準 備 金	その他利益剰余金			利 益 剰 余 金 合 計			
			施 設 改 修 積 立 金	任 意 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金			そ の 他 評 価 差 額 証 券 金	
当 期 首 残 高	200,000	50,000	1,500,000	1,100,000	15,810	2,665,810	2,865,810	992,521	3,858,332
当 期 変 動 額	株主配当金				△5,000	△5,000	△5,000		△5,000
	当期純利益				125,315	125,315	125,315		125,315
	株主資本以外の項目							174,482	174,482
当期変動額合計	-	-	-	-	120,315	120,315	120,315	174,482	294,796
当 期 末 残 高	200,000	50,000	1,500,000	1,100,000	136,125	2,786,125	2,986,125	1,167,004	4,153,129

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

- ① 子会社株式・・・・・・・・・・移動平均法による原価法。
- ② その他の有価証券
市場価格のあるもの・・・・・・・・・・期末日の市場価格等に基づく時価法。
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、
売却原価は移動平均法により算定)
市場価格のないもの・・・・・・・・・・移動平均法による原価法。

(2) 棚卸資産の評価基準および評価方法

- 製品、原材料、仕掛品・・・・・・・・・・先入先出法による原価法。

(3) 固定資産の減価償却の方法

- ① 建物
平成10年3月31日以前に取得したもの・・・・・・・・法人税法に規定する旧定率法。
平成10年4月1日以後平成19年3月31日以前に取得したもの
・・・・・・・・法人税法に規定する旧定額法。
平成19年4月1日以後に取得したもの・・・・・・・・法人税法に規定する定額法。
- ② 建物付属設備及び構築物
平成19年3月31日以前に取得したもの・・・・・・・・法人税法に規定する旧定率法。
平成19年4月1日以後平成24年3月31日以前に取得したもの
・・・・・・・・法人税法に規定する定率法(250%定率法)。
平成24年4月1日以後平成28年3月31日以前に取得したもの
・・・・・・・・法人税法に規定する定率法(200%定率法)。
平成28年4月1日以後に取得したもの・・・・・・・・法人税法に規定する定額法。
- ③ 建物、建物付属設備及び構築物以外の有形固定資産(リース資産除く)
平成19年3月31日以前に取得したもの・・・・・・・・法人税法に規定する旧定率法。
平成19年4月1日以後平成24年3月31日以前に取得したもの
・・・・・・・・法人税法に規定する定率法(250%定率法)。
平成24年4月1日以後に取得したもの
・・・・・・・・法人税法に規定する定率法(200%定率法)。
- ④ 無形固定資産(リース資産除く)・・・・・・・・法人税法に規定する定額法。
- ⑤ リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係わるリース資産
・・・・・・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法。

(4)引当金の計上基準

- ①貸倒引当金 売上債権、貸付金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上。
- ②賞与引当金 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額基準による当事業年度末の負担額を計上。
- ③役員賞与引当金 役員の賞与の支給に備えるため、支給見込み額を計上。
- ④退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき計上。
- ⑤役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を計上。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の総数に関する事項

株式の種類	前事業年度末の株式数	当事業年度増加株数	当事業年度減少株数	当事業年度末の株式数
普通配当	20,000株	一株	一株	20,000株

(2) 剰余金の配当に関する事項

① 配当金総額

令和4年6月28日開催の第60回株主総会において、次のとおり決議されました。

決議	株式の種類	配当金の総額	配当の原資	1株当たりの配当額	基準日	効力発生日
令和4年6月28日 第60回定時株主総会	普通株式	5,000千円	利益剰余金	250円	令和4年 3月31日	令和4年 6月29日

② 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

令和5年6月28日開催の第61回株主総会において、次のとおり付議いたします。

決議	株式の種類	配当金の総額	配当の原資	1株当たりの配当額	基準日	効力発生日
令和5年6月28日 第61回定時株主総会	普通株式	30,000千円	利益剰余金	1,500円	令和5年 3月31日	令和5年 6月29日

3. その他の注記

端数処理の方法 記載の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

監 査 報 告 書

私たち監査役は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの第61期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会及びその他の重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示していると認めます。

令和5年5月17日

宮崎空港ビル株式会社

監 査 役 平 野 亘 也 ㊞

監 査 役 林 田 洋 二 ㊞

宮崎空港ビル株式会社

取締役会長	株主総会・取締役会議長	長 濱 保 廣
代表取締役社長	統括・常務会議長 CSコンプライアンス担当	永 山 博 康
常務取締役	財務・経理担当	下 沖 忠 広
常務取締役	施設・危機管理担当	木 村 剛 啓
常務取締役	業務・地域活性化担当	大 坪 篤 史
取締役 経理部長兼業務部長	経理部・業務部担当	大 久 保 政 彦
取締役 営業部長	営業部担当	藤 本 誠 一
取締役 総務部長	総務部担当	前 田 剛 宏
取締役	宮崎県副知事	日 隈 俊 郎
取締役	宮崎市長	清 山 知 憲
取締役	宮交ホールディングス(株) 代表取締役社長	渡 邊 俊 隆
取締役	全日本空輸(株)宮崎支店 支店長	中 村 雄 志
取締役	日本航空(株)宮崎支店 支店長	福 岡 実 恵
監査役	(株)宮崎銀行 代表取締役頭取	杉 田 浩 二 (新任)
監査役	(株)宮崎太陽銀行 代表取締役頭取	林 田 洋 二

(令和5年6月28日現在)



宮崎ブーゲンビリア空港

Miyazaki Bougainvillea Airport



■ 宮崎空港ビルの使命・役割

～楽しい旅と暮らしのお手伝い～

当社は、空の玄関として、航空機を利用されるお客様を次の目的地へ、安全かつ迅速にお送りするとともに、快適な空間を提供し、あわせて航空業界の発展に寄与していくことを使命とする。さらに、地方空港として、宮崎の文化や観光、経済の情報を発信し、地域社会の発展に努めていく役割を担っている。

■ 経営理念

- ・当社の使命・役割を果たす為に、積極的な事業展開を行い、健全経営に努めます。
- ・地域の発展に積極的に取り組み、県民の皆様に愛され、信頼される企業を目指します。
- ・「おもてなしこそが最大の観光資源」との想いを継承し、日本一のおもてなし空港を目指します。
- ・社員を大切にし、一人ひとりが夢を持てる、明るい企業を目指します。

■ 行動指針

～まだまだ、ニコニコ、一歩ずつ。～

私たちは、県民の皆様に代わって、お客様をお迎えする立場であることを自覚し、いつも「お陰様で、ありがとうございます」という感謝の気持ちを、お客様に感じていただける接客に努めます。

- ・私たちは、安全安心のサービス提供のため、徹底した安全管理・衛生管理に努めます。
- ・私たちは、いつも明るい笑顔と感謝の心をもってお客様の心に残る一歩先のおもてなしに努めます。
- ・私たちは、お客様の声を最も重要視し、どんな小さなことでも全て報告します。
- ・私たちは、お取引をいただいている皆様に、常に感謝の気持ちをもって接します。
- ・私たちは、より高い目標を持ち、常に背伸びをして、自己能力の向上に挑戦します。
- ・私たちは、サービスのプロとして、社員同士がお互いに注意しあえる職場づくりを目指します。

宮崎空港ビル令和 4 年度の取り組み

創立60周年記念の取り組みについて

11月には会社創立60周年という大きな節目を迎え、日頃お世話になっている地域の皆様への感謝の気持ちをお伝えするとともに、館内では60年の歴史を振り返るパネル展などの記念行事を開催いたしました。

創立以来ご支援・ご協力をいただいている地元自治会の方々へは、感謝状の贈呈や寄付をさせていただいたほか、ターミナルビル開設以来、屋上に御霊を分祀いただいております宮崎神宮五所稲荷神社の本殿前に、同じく分祀されている株式会社宮崎放送と共同で灯籠を2基、寄進させていただきました。

◆ 創立60周年記念パネル展の開催



◆ 地元自治会への感謝状贈呈



◆ 宮崎神宮五所稲荷神社への灯籠寄進



宮崎ブーゲンビリア空港屋上に御霊を分祀いただいている五所稲荷神社



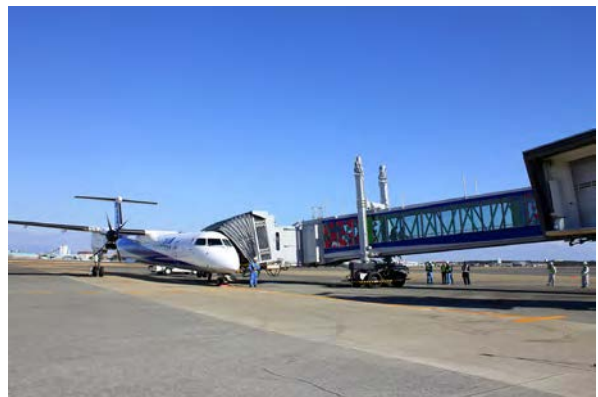
3月22日
宮崎神宮五所稲荷神社本殿前の
寄進させていただいた灯籠

CIRIUM【小規模空港部門】定時出発率世界1位

宮崎ブーゲンビリア空港は、英国の航空データ分析を提供する CIRIUM 社の The On-Time Performance Awards にて、2022年の定時出発率小規模空港部門において、世界1位を獲得しました。今回の受賞は、就航している各航空会社の定時運行に向けた日々のオペレーションに加え、保安検査場スタッフ、警備員・清掃員等、宮崎空港の職員が一丸となった取り組みによるものと感謝しております。また、どんな小型機にも対応し、皆様がスムーズに乗り降りできるロングPBBの設置も大きく寄与したものと考えております。宮崎空港は、引き続き関係者一丸となって航空機の高い定時出発確保へ向けて、お客様が快適にご利用いただける空港づくりを行ってまいります。



《2022 WINNER ロゴ》



《小型機対応ロングPBB H29.12に導入》

【小規模空港部門TOP5（対象173空港）】

順位	空港名	国・地域	定時出発率
1	宮崎空港	日本	93.29%
2	松山空港	日本	92.63%
3	熊本空港	日本	92.30%
4	台北松山空港	台湾	91.92%
5	マレシャウ・ロンドン空港	ブラジル	91.36%

【参 考】

- グローバル空港部門1位
羽田空港 定時出発率 90.33%
- 大規模空港部門1位
大阪国際空港 定時出発率 94.06%
- 中規模空港部門1位
中部国際空港 定時出発率 94.21%



3月6日 世界一受賞記念祝賀会



3月30日 トロフィー授与式

ナッシーリゾート in 宮崎

7月1日(金)～8月28日(日)：オアシス広場・1F ショールーム

宮崎県とポケモン社の連携協力協定の締結を受け、宮崎空港では『ナッシーリゾート フレンドリーショップ』がオープンし、「宮崎大好きポケモン」のナッシーと宮崎の特産品がコラボした宮崎オリジナル商品や、ポケモンセンターオリジナル商品が販売されました。

また、オアシス広場に、等身大10.9mのアローラナッシーのバルーンが登場したほか、全26市町村のポケふたの展示や県産品が当たるイベント、宮崎初開催となるナッシーとのグリーティングも行われ、大人から子供まで多くのお客様に楽しんでいただきました。



エントツノシタ～県北の魅力発信～

7月9日(土)～7月18日(月)：オアシス広場

旭化成延岡支社主催による県北の「食・文化・歴史・自然」などの魅力を発信するイベント「エントツノシタ」が開催されました。宮崎空港では初となる、企業による地域活性化を目的としたイベントで、会場づくりからイベント内容まで大変趣向を凝らしており、日替わりで出店業者が入れ替わる「日替わりマーケット」やフラダンスイベントが行われ、多くのお客様に県北の魅力をお届けすることが出来ました。



南海トラフ防災展

9月1日(木)～9月11日(日)：オアシス広場

近年、南海トラフ巨大地震による津波災害などが想定されるなか、宮崎空港が地域住民のみなさまの避難所になっていることや、昨今、全国的にも大規模な災害が多発していることを踏まえ、大規模な防災展を開催いたしました。「いま震災の3日前だったら、あなたはどうか準備しますか？」というテーマのもと、防災啓発パネルの展示、日赤による救護所の設置、津波救命艇の見学、防災用品や備蓄缶・避難時に有効なキャンプ用品などの展示品の注文販売などを行いました。誰のもとにも起こりうる様々な災害からどう命を守っていくかということについて、一人ひとりが考えるきっかけとなる非常に有意義なイベントとなりました。



全国空港ビル事業者協会第4回定時総会の開催

5月19日(木)～20日(金)にかけて、「一般社団法人全国空港ビル事業者協会第4回定時総会」が宮崎で開催されました。新型コロナウイルスの影響で2年延期され、3年越しの開催となりましたが、コロナウイルスの感染防止対策をしっかりと行い、全国の皆様(140名)にご満足いただけるよう、宮崎空港らしいおもてなしでお出迎えいたしました。

ブーゲンビリア咲き誇る初夏の宮崎を、全国の皆様にご堪能いただけたことと大変嬉しく思っております。



国際線(チャーター便)の再開

11月13日(日)～

11月にエアプサン(韓国)のチャーター便で韓国から約400名のお客様が宮崎を訪れました。国際線の再開は約2年8ヶ月ぶりでしたが、宮崎県・宮崎市・CIQの皆様の尽力により、地方空港としては最も早く運行を再開することができました。また、1月12日からはアジアナ航空のチャーター便も再開され、2月23日までの期間に木曜と日曜を中心に30便が運航されました。韓国から合計約2300名の方が宮崎を訪れ、本格的なインバウンド再開に向けて弾みが付くものとなりました。



宮崎フーゲンビリア空港

オリジナル商品のご紹介

JAL国際線機内食に採用された宮崎和牛カレーをベースにゴロゴロお肉とスパイシー感をプラス、美味しさ、満足度ハコアツプ!



宮崎和牛 ゴロゴロカレー



宮崎空港カレーシリーズ



ガンジス 宮崎和牛 宮崎黒豚

1箱 (180g) **1,000円**

ガンジスカレー

【ガンジス・宮崎和牛・宮崎黒豚】

1箱 各 550円



夢かぐら オリジナル

冷や汁

1袋

2袋箱入

486円

972円

※1袋はお茶碗2杯分です。



繊細な甘みの芋

本格芋焼酎 竜貯蔵

芳醇な香りとコクの麦

本格麦焼酎 赤頭蔵

豊潤な甘みのそば

本格そば焼酎 全量そば

宮崎空港限定

アルコール度数三十三度。芋、麦、そば。

三種の本格焼酎



空港シェフ特製
日向夏ドレッシング
●220ml **600円**

宮崎県産の日向夏みかんを使用した爽やかなドレッシングです。

ひむか燦々 (さんさん)【芋・麦・そば】●720ml●33度 **各 3,300円**

宮崎の本格焼酎は、材料が多様性に富んでおります。それぞれの特徴を活かした「甕貯蔵の芋」「長期熟成の麦」「全量そば」による三種の味わいをお楽しみください。

※表示価格はすべて税込価格です。

4種のウコン効果!



吞んでも吞まれない♡

ニシタチレジェンド

●1袋(6包入)

1,100円